

[2015]九州大学情報統括本部年報 : 2015年度

<http://hdl.handle.net/2324/2198495>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2015, pp.1-. 九州大学情報統括本部
バージョン : published
権利関係 :



2015年度年報の発行にあたって



九州大学 情報統括本部長 藤村 直美

情報統括本部は、九州大学の全構成員（教職員と学生）に教育・研究・事務・診療に必要な情報基盤（インフラ）と各種情報サービスを提供することを目的とし、情報基盤研究開発センター、情報システム部、および附属図書館の3つの部局を中心に、全学的な組織として2007年度に発足しました。情報統括本部自体は仮想的な組織ですが、必要に応じて全学からの協力を得ながら、幅広く活動を行っています。

2015年度は、情報統括本部が従来から提供しているネットワーク、無線LAN（kitenet、edunet）、認証基盤、全学基本メールなどの運用、ソフトウェアの一括契約による情報環境の整備や学生PC必携化への対応などに加えて、いくつかの重要なサービスの運用を変更・改善し、また新しいサービスを始めました。例えば、すべての構成員に提供している全学基本メールについては、保存容量を2015年4月から4GBへ、さらに2015年11月から8GBに拡張しました。2014年度に開始した学生用SSO-KIDの導入が学年進行で普及していましたが、全学生の認証を2016年3月15日からSSO-KIDに切り替えました。これによって全教職員・学生がSSO-KIDで認証することになり、認証方法がすっきりしました。また、世界的な無線LANの共同利用サービスであるeduroamのサービスを開始するための整備を行い、2016年4月からイベントなどが頻繁に開催される場所を中心にeduroamを利用できるようにしました。

ネットワークセキュリティに関してもサーバセキュリティセンターと協力することで多くの改善を行いました。例えば、ファイアウォールの運用方針を変更し、2015年9月から基本的に外部からのアクセスを規制することにしました。これによって、これまで外部から直接アクセス可能だったパソコンなどのセキュリティを格段に改善できました。またWebサーバの可用性を高め、経費節減を行うために、九大のトップページのサーバを総務部総務課と連携して2015年5月に、大橋のWebサーバ19ドメイン分を芸術工学府デザイン基盤センター情報基盤室と連携して2015年7月に、外部のクラウドに移行しました。

本報告は、2015年度の情報統括本部の主な活動を報告するとともに、将来のサービス向上に向けての方針や方向性を学内外の利用者に周知することを目的としています。情報統括本部が、学内外の利用者の視点に立って、新しい技術を取り入れつつ、安全・安心に、安定して、使い易い情報基盤と情報サービスを提供していけるように、利用者各位の忌憚のないご意見やご要望をいただければ幸いです。